



2023年（令和5年）3月22日

帝国ホテル 東京・帝国ホテル 大阪・上高地帝国ホテル
SDGs を実践する宿泊施設の国際認証「Sakura Quality An ESG Practice」の
最高評価「5 御衣黄ザクラ」を3事業所同時に取得
最高評価での認証は当社が初



株式会社 帝国ホテルの3事業所（東京・大阪・上高地）は、SDGs を実践する宿泊施設を認定する「Sakura Quality An ESG Practice（サクラクオリティグリーン）」認証制度において、5段階評価のうち最高評価である「5御衣黄^{ぎょいこう}ザクラ」を2023年3月19日に取得しました。なお「5御衣黄ザクラ」の取得は、当社が初となります。



“持続可能な観光”は、これからの観光業界にとって欠かすことのできないテーマであり、これまでも帝国ホテルグループは、SDGs を基盤とした取り組みを全社で進めてまいりました。

世界中の旅行者にとっても、旅先や宿泊先を決める際にサステナビリティへの配慮や意識が重視される中、当社グループのSDGs への取り組みをより分かりやすく発信することが必要と考え、国際的な認証制度である「サクラクオリティグリーン認証」を取得しました。

一般社団法人 観光品質認証協会が運営する「サクラクオリティグリーン認証」(<https://www.sakuraquality.com/>)は、米国のグローバル・サステナブル・ツーリズム協議会（GSTC、<https://www.gstcouncil.org/>）が制定する国際規格をもとにした、SDGs を実践する宿泊施設の認証制度です。

同認証はSDGs の17のゴールに基づいた172項目で構成され、各施設はチェックシートへの回答や、調査員による現地視察を経て、5段階のレベルで評価されます。

この度、帝国ホテルグループの3事業所が認定された最高位の「5御衣黄ザクラ（Leaders）」は、172項目が満点の施設に与えられるもので、地域の指導役となる施設として認められたこととなります。

今後も PDCA サイクルを回しながら、サステナブルツーリズムを牽引するクオリティの維持に努めてまいります。

【ご参考】帝国ホテルグループにおける SDGs への取り組み例

当社グループでは、脱炭素、食品ロス削減、脱プラスチック、ダイバーシティ推進等に組み組んでおり、2023 年 3 月からはサステナビリティ調達方針を策定いたしました。

●脱炭素

直営事業所における CO2 排出量を 2030 年度までに 40%削減(2013 年度比)、2050 年度までに実質ゼロを目指し、ロードマップを策定いたしました。上高地帝国ホテルでは、先行して 2022 年度より CO2 排出量実質ゼロを達成。今後は、新ハードへの最新技術導入による環境負荷低減、省エネルギー活動の推進、再生可能エネルギーの導入を積極的に進めてまいります。

●食品ロス削減

食材仕入れの管理の徹底、調理時に食材を無駄なく使用する工夫等に加え、生ごみのリサイクル率は帝国ホテル 東京・帝国ホテル 大阪共に 70%、上高地帝国ホテルでは 100%を維持し、法定実施率を達成しています。

●脱プラスチック

プラスチック資源循環促進法に則り、同法が対象とする客室アメニティ等を代替素材へ切り替え、2022 年度はプラスチック使用量を年間 11t 削減(2019 年度比 70%削減)することを目指します。

●ダイバーシティ推進

多様なライフスタイルの従業員が自分らしく最大限の能力を発揮することを目指し、女性の活躍推進、育児・介護支援、障がい者雇用を進めるほか、従業員の健康維持・増進に取り組む「健康経営」も推進しています。

帝国ホテル サステナビリティレポート

https://www.imperialhotel.co.jp/j/company/pdf/sustainability_report2022.pdf

帝国ホテル サステナビリティ調達方針

https://www.imperialhotel.co.jp/j/company/pdf/sustainability_policy_2023.pdf